

平成 23 年度事業計画

平成 23 年度は、読書推進活動と書店活性化の両面の立場から、「読書コミュニティの構築と活性化」を図ることを主題に事業を展開する（下線は、重点活動）。

1. 生涯学習事業

① 第 19 期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」

通信教育とスクーリング 3 回 6 日。会期：7 月～1 月。開催場所：東京。募集人数 100 名（聴講生若干名）。受講料 58,000 円、賛助会員 53,000 円。

② 「JPIC 読書アドバイザー養成講座」カリキュラム・テキスト改訂、修了生へのアプローチ・・・時代に応じたカリキュラムの改訂を行い、平成 25 年度から使用するテキストを 2 年間にわたって検討・作成する。修了生を主な対象とした「読書コミュニティのリーダー」「読書会コーディネーター」育成を視野に入れたカリキュラムの検討・研究。

③ 「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動協力

④ 絵本・読みきかせ・読書ボランティア・中高生向け 各種読書講習会

ア) 「JPIC 読みきかせサポーター講習会」

各会場 100 名、10 会場にて実施。参加費 1,000 円。生命保険協会協賛。

イ) 「読みきかせサポーター実践講座～ステップアップ編」

読みきかせ経験者を対象に、スキルアップのための講習会を行う。2 日間の講習。各会場 100 名、3 会場にて実施。参加費 3,000 円。

ウ) 「ブックトーク講座～世界の絵本・児童書を知ろう」

中高生に有効なブックトークの手法を学ぶ。各会場 100 名、4 会場にて実施。参加費 1,000 円、学生無料。

エ) 「10 代の読書会」

中学生・高校生を対象に、読書会と作家の講演・質疑応答を行う。各会場 50 名程度。8 会場にて実施。

※いずれも「子どもゆめ基金」助成申請事業。

⑤ 大学生への読書アプローチ

「大学読書人大賞」共催（主催：同実行委員会）、「大学生のための読書講座」共催（共催：大学生協）

2. 調査研究事業

① 書店店活性化・デジタル化研究・・・「平成 22 年度総務省新 ICT 利活用サービス創出支援事業」の成果を生かし、「経産省書籍等デジタル支援事業 (JPO)」への協力、他団体の事業との協力を図ることで、「デジタルネットワーク技術による書店の活性化」「読書コミュニティの拡充化」に取り組む

② 業界人向けセミナー、講演会

③ 国立国会図書館や在日外国機関との協力事業（シンポジウムや調査研究）

3. 情報提供事業

- ① 「JPIC NEWS LETTER」発行
賛助会員の皆様に財団事業の報告のため逐次発行する。
- ② ホームページ運用、メールマガジン発行
6月にホームページをリニューアルし、メールマガジン会員の拡充を図る。
- ③ 「この本 読んで！」発行
第39号（11年夏号、5月）～第42号（12年春号、2月）を10,000部発行する。

4. 交流協力事業

- ① 「20歳の20冊」の拡充
「国民読書年記念事業」として平成22年度に28地域で実施した本事業のさらなる拡充を目指して、全国の自治体に働き掛ける。
- ② 「ブックリボン」拡充への調査研究
自治体や企業CSRの協力を得てのさらなる拡充策を研究・検討する。次回実施は、24年度を目途に準備。
- ③ 「上野の森 親子フェスタ」共催
5月3日～5日、東京都台東区・上野恩賜公園にて開催。（共催：子どもの読書推進会議、協賛：日本公文教育研究会、住友生命健康財団）
- ④ 「子どもの本の日フェスティバル」共催
24年3月に東京都品川区・大崎でのフェスティバルを行う。共催：JBBY
- ⑤ 「首都圏書店大商談会」協力
昨年11月の第1回開催に引き続き、第二回も事務局として協力する。また、大阪で開催される「BOOK EXPO 2011」にも事務局として協力する。
- ⑥ 朝日新聞読書推進事業への協力
「オーサー・ビジット・プロジェクト」「どくしょ甲子園」の事務局機能を受託。
- ⑦ 各社・団体の読書普及事業への協力
- ⑧ 生命保険協会「読みきかせ事業」協力・・・創立100周年記念事業として平成20年度からスタートした本事業。平成23年度からの第2期3カ年では、JPIC活動と読書ボランティア活動をより連携を強めた展開を図る。
- ⑨ 「スミセイ おはなしひろば」協力（主催：住友生命健康財団）
幼稚園・保育園でおはなし会を開催。4地域、「上野の森 親子フェスタ」で実施。
- ⑩ 赤ちゃん本舗「赤ちゃんとママのおはなし会」協力（主催：赤ちゃん本舗）
- ⑪ 「造本装幀コンクール」協力（主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会）
事務局機能を受託。
- ⑫ 地域読書環境整備事業
モデル読書施設での読書推進事業を支援する。
- ⑬ 「第4土曜日は、こどもの本の日」の検討と実施
日書連・取協・児童出協と調整を行う。事務局：JPIC。
- ⑭ 東日本大震災復興協力事業・・・被災復興のため、関係団体・企業、作家、読書ボランティア、読者などと協力し、読書環境の整備に向け活動する。